

## 4-03 教育環境の充実

<b>視 点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童生徒が安全で安心して学校生活を送ることができること</li> <li>●生涯にわたり学習・文化・スポーツ活動に取り組むことができる、安全・安心で質の高い教育環境を整備すること</li> <li>●児童生徒が登下校時に交通事故や犯罪に巻き込まれることがないように、地域ぐるみで通学路の安全確保に努めること</li> <li>●子どもたちにとって望ましい教育環境を維持・向上させること</li> </ul>
------------	---

### 4-03-01 安全・安心な教育環境の確保

#### 5年後の目指す姿

- 児童生徒が安全で安心して学校生活を送ることができるよう、全ての学校施設の耐震化が図られ、また、学校施設や教職員住宅の老朽化対策が計画的に進められています。
- 学校給食を安定的に供給するための環境整備が計画的に進められています。
- 全ての利用者が利用しやすい社会教育施設となるよう、適切に維持・管理されています。

#### 現 状 と 課 題

- 学校施設は、子どもたちが一日の大半を過ごす活動の場であるとともに、非常災害時には地域住民の避難場所としての役割も果たすことから、安全性の確保が最優先です。
- 学校施設や教職員住宅の老朽化等の課題に対し、中長期的な整備計画を策定し適正に維持・管理していくことが求められています。
- 社会教育施設(中央公民館、文化センター、スポーツセンター、勤労者体育センター、弓道場、温水プールふるも、神居岩スキー場、市立留萌図書館)については、全体的に老朽化が進んでおり、適切な維持・管理が求められています。

#### 前 期 の 方 向 性

- 地震等の自然災害から児童生徒の安全・安心を確保するとともに、地域の避難所としての機能を担っていることから、学校施設の耐震化及び老朽化対策を計画的に進めていきます。
- 教職員住宅の老朽化対策を計画的に進めていきます。
- 安全・安心な食材で作る学校給食を安定的に供給するための環境整備を計画的に進めていきます。
- 社会教育施設の維持・管理計画を策定し、適切に施設の維持・管理を進めていきます。

#### 数 値 目 標

※現状：H27

指 標 項 目	現状	H29	H30	H31	H32	H33
小・中学校施設の耐震化率 (%)	94.7	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
小中学校の老朽化対策の実施 (校)	0	1	1	1	1	0
学校給食地産地消率 (金額割合) (%)	40.66	40.7	40.8	40.9	41.0	41.1

### 4-03-02 児童生徒の安全対策の充実

#### 5年後の目指す姿

- 地域ぐるみで子どもたちを見守ることにより、児童生徒が安心して登下校をしています。

## 4-03 教育環境の充実

### 現 状 と 課 題

- 全国的に児童生徒が登下校時に交通事故や犯罪に巻き込まれる痛ましい事件が後を絶たない中で、通学路の安全・安心の確保が求められています。

### 前 期 の 方 向 性

- PTAや地域住民の協力を得ながら、地域ぐるみで通学路の安全確保に努めていきます。
- 学校、道路管理者、警察等の関係機関による通学路の交通危険箇所の合同点検の実施や点検に基づく改善に向けた取り組みを進めていきます。

### 数 値 目 標

※現状：H27

指 標 項 目	現状	H29	H30	H31	H32	H33
児童生徒の登下校時の交通事故発生件数	(件) 0	0	0	0	0	0

## 4-03-03 教育環境の維持向上

### 5 年 後 の 目 指 す 姿

- 児童生徒数が減少していく中であっても、子どもたちにとって望ましい教育環境の維持・向上が図られています。

### 現 状 と 課 題

- 児童生徒が減少していく中で、学校規模によるメリット・デメリットを十分に検証した学校配置の適正化が求められています。
- 経済的な問題や障がいなどを理由に、教育の機会が損なわれないような配慮が求められています。

### 前 期 の 方 向 性

- 学校規模によるメリット・デメリット等を検証しながら、学校配置の適正化の検討を進めていきます。
- 全ての児童生徒が安心して必要な力を身に付けていけるよう、経済的支援や障がいの特性に応じた学習環境の提供に努めていきます。

### 数 値 目 標

指 標 項 目	現状	H29	H30	H31	H32	H33
なし						